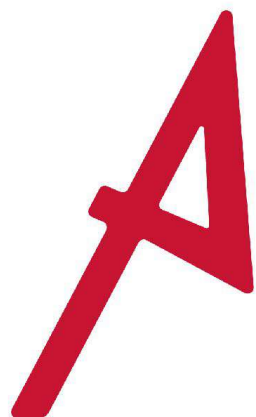


旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和3年11月5日
発信課	経済部産業振興課
担当者	後藤, 正部川
連絡先	電話 65-7047
	FAX 65-7048
	E-mail sangyousinkou@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他
日程	11月12日(金), 13日(土), 20日(土), 21日(日)
発表項目(行事名)	2021年度 旭川デザインプロデューサー育成事業の取材のお願い
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>旭川市では、デザイン思考による地域資源の価値向上や地域課題の解決に繋げることができる、地域デザインプロデューサー人材を育成するため、デザインプロデューススキルに必要な基礎的な知識や実践的なノウハウを学ぶプログラムを実施する。</p> <p>詳細は https://awrd.com/award/adp2021</p> <p>(1) ベーシックプログラム (全4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基礎研修 座学研修を通じてデザイン経営・デザインプロデュースの基礎的な理論・概念を理解する研修プログラム。 11月12日(金) 18:00~21:00 11月13日(土) 10:00~17:30 場所: 旭川木エセンター2階 (旭川市永山北4条6丁目3-56) ● 実践ワークショップ 地域と企業における課題発見の視点と、解決アイデア創出のための思考法を学ぶ、ワークショップ形式のプログラム。 11月20日(土) 10:00~17:30 11月21日(日) 10:00~17:30 場所: 旭川木エセンター2階 (旭川市永山北4条6丁目3-56) <p>(2) ハンズオンプログラム (約3か月) 実際に地域と企業の課題に対して、デザインプロデュースを実践する、伴走型のプログラム。受講者は、15名程度。 12月11日(土)~2022年3月</p> <p>(3) 成果報告会 本プログラムを通じた実施成果の振り返り。2022年3月</p> <p>(4) お問い合わせ先▼ 運営: ロフトワーク 050-3380-6154 主催: 旭川市経済部産業振興課 0166-65-7047</p>
添付資料	有 (研修プログラムの概要)
報道(取材)に当たってのお願い	
備考	



ASAHIKAWA
DESIGN
PRODUCER

事業概要



ASAHIKAWA
DESIGN
PRODUCER

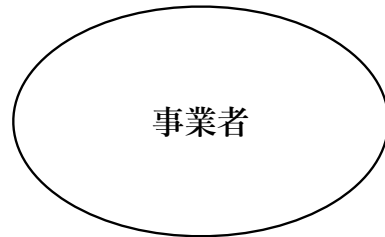
本プログラムは、旭川市において、地域振興事業、デザイン経営普及事業として実施します。

世界的な大変革の渦の中、従来の枠にとらわれない「新しい価値の創出」が求められ、課題発見・解決手法で一層注目を集めているのが「デザイン」です。
本事業では、意匠だけでなく、サービスやビジネスのデザインなど、事業全体をプロデュースできる人材=デザインプロデューサーを育成します。

家具づくりに代表される、豊かな自然から
豊かな暮らしをつくる。製品のデザイン

||

一部の人限定されたデザインの活用



事業者

成果物ありきのグラフィック
プロダクトデザインの発注

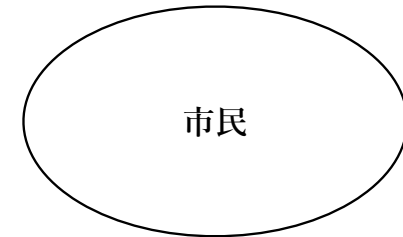
地域における自社の存在意義を定義し、デザインを経営資源として捉え、何に、どうデザインを用いるかまで考え、実践している企業数はまだまだ少ない。



デザイナー
プロデューサー

意匠以上のデザイン活用が
できる人材の不足

課題発見～解決の手立てとしてデザインを捉え、なにに、どのようにデザインを用いるかを考え、プロジェクトとして実行できる人材の確保が急務。



市民

デザインとの距離が遠く
接点が少ない

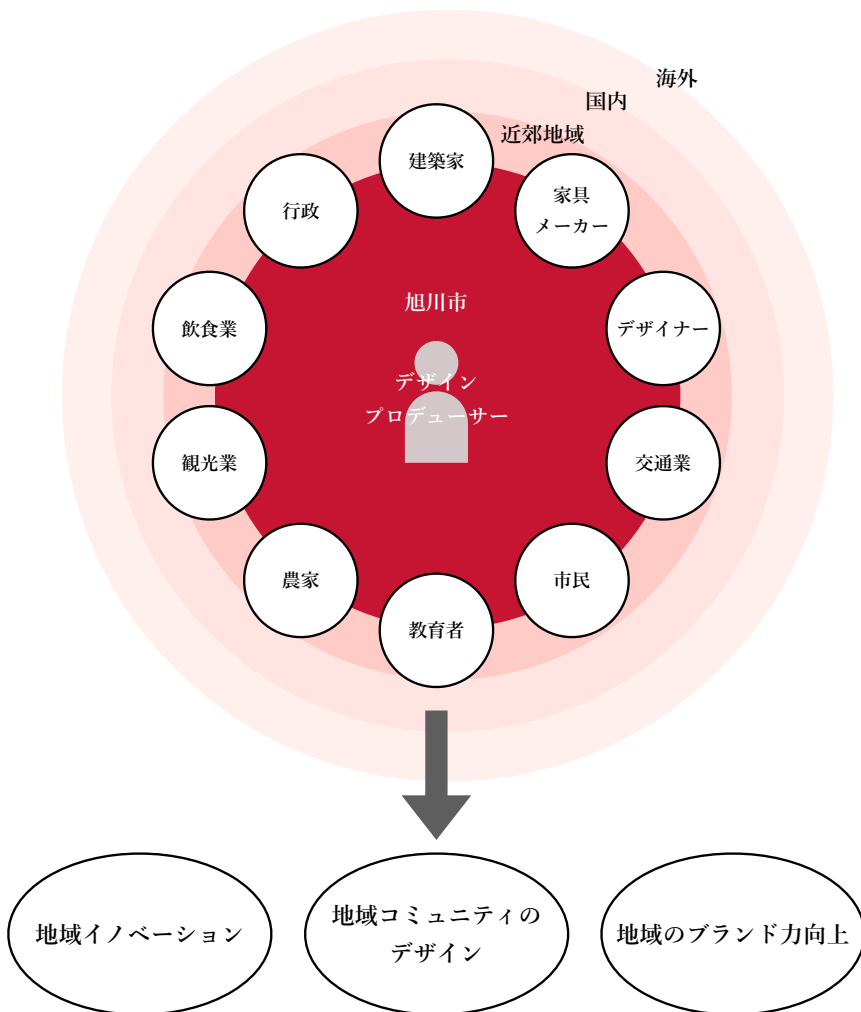
優れたデザインの製品ゆえに価格が高く、所有と購入のハードルが高く、デザインが縁遠い。また、プロダクト以外にデザインの価値に触れる接点もまだまだ少ない。

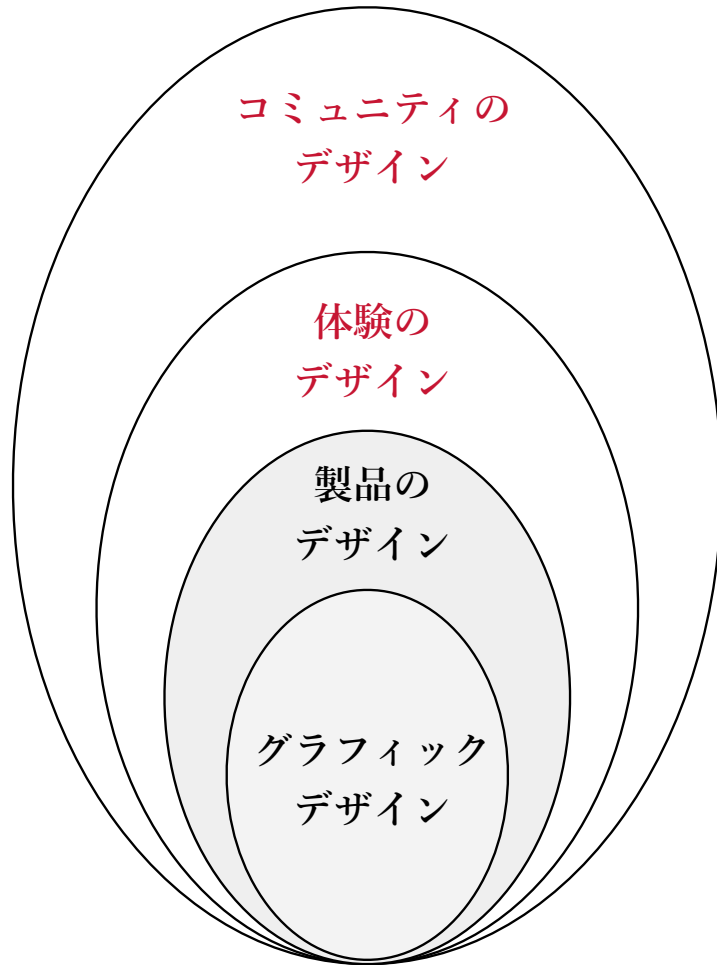
デザインの力は、 旭川市の何を変えるのか？

森林からとれる良質な木材を使った、技術とデザインの融合による、ものづくり都市としても発展してきた旭川地域は、2019年にユネスコのデザイン創造都市にも選ばれ、世界中のクリエイティブコミュニティとつながりました。

一方で、すぐれた「製品のデザイン」以上にデザインを活用して地域をどう発展させることができるのかが、今問われています。

本プログラムでは、ものづくり、食、医療福祉、この街のあらゆる営みにおいて、デザインの力を活用し、地域へのデザイン経営導入、旭川市のブランド構築やイノベーション創出を図ります。





デザインプロデューサー

=意匠だけのデザインをする人間ではない

地域の中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、今日では大きく変化しており、各地域の抱える課題は、事業者単体での解決が非常に困難なものが少なくありません。

そこでデザインと経営の両面から、地域の抱える課題にアプローチし、ビジネスとして成功に導く「デザインプロデュースができる人材」が各地域に必要です。

デザインプロデューサーとして 体得しておきたい知識・スキルの例

課題の発見～定義

課題解決のためのアプローチ・施策立案

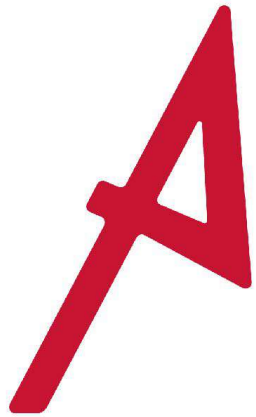
実行チームの組成

関係者・ステークホルダーの巻き込み

必要なリソース（人・物・資金）のマネジメント

etc...

旭川市内の事業者・支援機関、旭川市で活動を希望するデザイナーなどで、
デザインプロデュースの実践に関心があり、
後述のベーシックプログラム全カリキュラムに参加可能な方



ASAHIKAWA
DESIGN
PRODUCER

プログラム詳細

プログラム構成

受講者30名 必須受講



ベーシックプログラム

基礎研修
2日間

実践WS
2日間

座学研修を通じてデザイン経営・デザインプロデュースの基礎的な理論・概念を理解し、ワークショップでの実践を通じて、受講者自身の課題を明確化することを目指します。

15名 有志&適正審査で選抜



ハンズオン支援プログラム

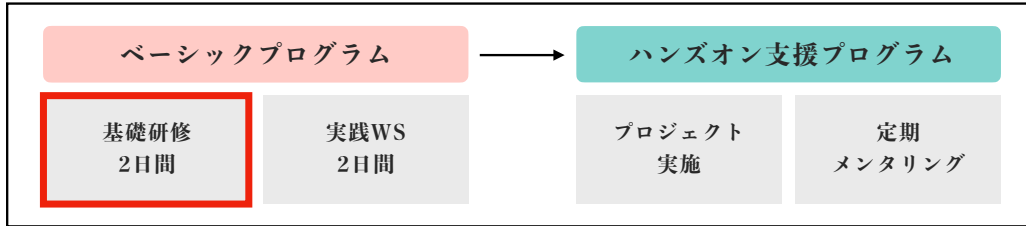
プロジェクト
実施

定期
メンタリング

企業と地域の課題解決のためのデザイン実装をOJT形式で実施。受講生と協力企業2社の合同チームでプロジェクトを立ち上げ、期間内に実際に社会にリリースすることを目指します。

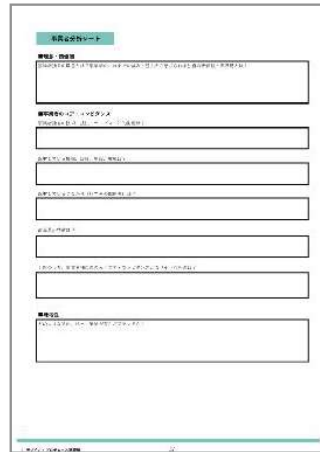
ベーシックプログラム

ベーシックプログラム 基礎研修



基礎研修とは

デザインプロデュースを実践する上で、基礎知識として身に付けておくべき内容について、本プロジェクトで作成するオリジナルテキストをベースとした2日間の座学形式で網羅的に取り扱います。



プログラム

11.12 (金) | デザイン経営とデザインプロデュース・時代とともに変わるデザインの役割
18:00~21:00

講義演習：デザイン経営とデザインプロデュース (2時間)

- ・時代とともに変わるデザインの役割
- ・デザイン経営とは？デザイン経営が求められる時代背景
- ・デザインプロデュースによる地域課題解決の例

講義演習：デザインプロデュースのための心構え (1時間)

- ・出口（顧客）基点の考え方
- ・現場・現地でのリサーチについて
- ・ステークホルダーとその重要性

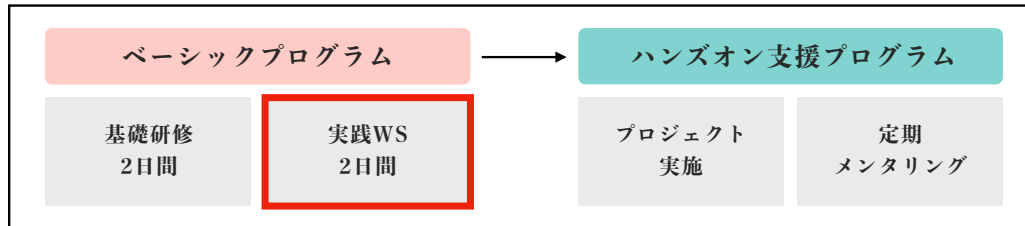
11.13 (土) | デザインプロデュースのための心構え・地域課題の発見
10:00~17:30

講義演習：デザインプロデュースの基礎 (3時間)

- ・地域における主たる事業者の現状分析とゴール設定
- ・市場調査についての考え方
- ・デザイン提案とブランドづくり
- ・MD（マーチャンダイジング）計画とは
- ・売場設計/VMDとは
- ・顧客体験設計の重要性
- ・プロモーションと資金調達

講義演習：知的財産権と契約について (1時間)

ベーシックプログラム 実践WS



実践WSとは

デザインプロデュースに関する基礎知識について座学で学んだ内容を、ワークショップ形式で実践。地域企業2社が抱える事業課題と地域課題が接続する点について、リサーチを通じた課題定義から解決方法の策定・提案までデザインプロデュースの概要を体感します。



プログラム

11.20 (土) | リサーチと
10:00~17:00 | アイディエーション

講義演習：地域課題発見 (1時間20分)

- ・地域課題と地域の主要な事業内容について
- ・ステークホルダーマップをもとにした地域産業の収益構造の理解
- ・現状抱えている地域課題についてのまとめ

リサーチ実習 (3時間30分)

- ・リサーチの目的と観察のポイント
- ・事業者のオフィス・工場見学と気づき・発見のシェア
- ・インタビューガイドの作成とインタビューの実施

アイディエーション (3時間)

11.27 (土) | プロトタイピングと
10:00~13:00 | プレゼンテーション

講義演習：地域課題発見 (1時間20分)

- ・解決アイデア数点へのフィードバック
- ・考えるべきポイントへの理解

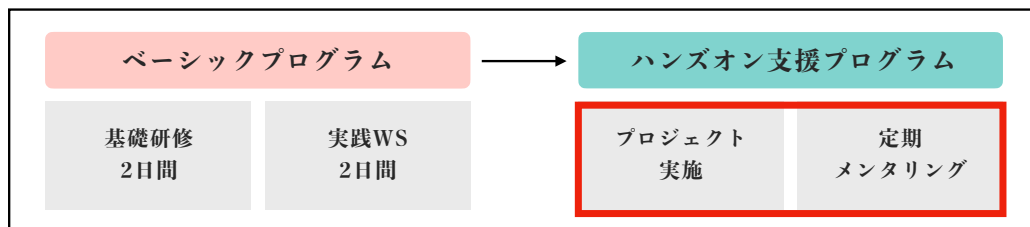
プロトタイピング： (5時間)

- ・解決アイデアを製品やサービスとして検証可能な形にする
- ・アイデアスケッチのブラッシュアップ
- ・用意した素材を用いた製品モックアップやPC上でのWebサービスのモックアップ作成

プレゼンテーションと講評： (1.5時間)

ハンズオン支援プログラム

ハンズオン支援プログラム



ハンズオン支援プログラムとは

地域企業と定めた研修テーマに基づき、受講者自身がデザインプロデュースに取り組みます。プロジェクト実施体制の構築から、実行計画の策定を経て、定期的なメンタリングのもと、企業と地域の課題解決のための施策を実施していきます。



- 2021年12月2日
～12月9日頃 | デザインプロデュースの方向性の検討
- 2021年12月13日
～12月17日頃 | プロジェクト実行計画の策定
- 2021年12月20日
～2022年1月7日 | デザインチーム体制の構築
- 2022年1月10日
～1月28日頃 | プロトタイプ製作
- 2022年1月31日
～2月4日頃 | 中間レビュー
- 2022年2月7日
～2月18日頃 | プロトタイプのブラッシュアップ
- 2022年2月21日
～2月25日頃 | 地域でのテスト導入
- 2022年2月28日
～2月25日頃 | 成果報告に向けた準備

ハンズオン支援受講者の選定



デザインプロデュースの
ワークショップ参加の
地域企業2社を対象に実施



実践研修テーマの発表と
プログラム受講者からの
参加募集を実施



受講者から立候補し
1地域企業/最大2チームで
OJTに入る

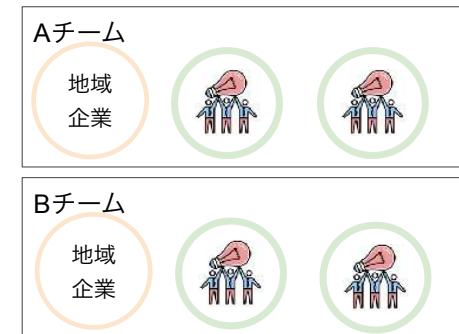


実践研修では、デザインプロデュースのワークショップを担当した地域企業2社を対象とする。

受講生30名から
15名 有志&適正審査で選抜



地域企業との協議の上、実践研修のテーマを決定、発表。
プログラム受講者から希望を募る。



デザインプロデュースの実践対象となる地域企業2社に対して、各最大2チーム（各10名程度を想定）がOJTを行う。

スケジュール

2021年10月

11月

12月

2022年1月

2月

3月

10月11~31日
参加事業者公募

11月1~5日
選考期間

11月12日~
11月21日
ベーシック
プログラム

12月11日~3月
ハンズオン支援
プログラム

●
10月23日
説明会

●
11月12日
オープンセミナー

●
2月4日
中間レビュー

●
3月
成果報告会

会場は旭川市内の会場を調整中です。
新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて、
適宜、オンライン（Zoom）での実施となる場合があります。

講師陣

メンター



デザイン事務所 カギカッコ
代表
ゲンマ マコト



公益財団法人
日本デザイン振興会 理事
矢島進二



デザインピークス
20パーセント
やはずのよしゆき



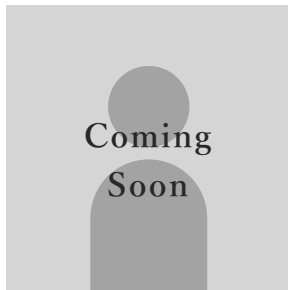
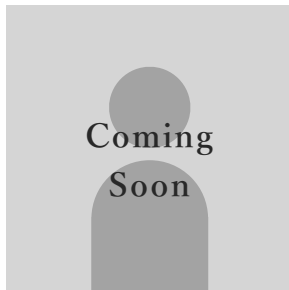
(株)ロフトワーク
クリエイティブディレクター
加藤修平



(株)ロフトワーク
クリエイティブディレクター
室諭志



(株)ロフトワーク
クリエイティブディレクター
川原田昌徳



メンターとは

ハンズオン支援プログラムの期間中、受講生のみなさんの活動の相談、壁打ち役としてプロジェクトの実行計画や、実行状況に対してアドバイスをしていきます。

この他にも、デザインプロデュース、コミュニティデザインに詳しい専門家の講師を予定しています。